

# 特集 いちごのふるさと栃木市



## 日本で唯一の いちご専門研究機関

栃木県農業試験場「いちご研究所」。その前身となる、県農業試験場栃木分場は、昭和49年に栃木市内の大塚町に開設されました。この地にて数々のいちごの品種を生み出してきたこの農業試験場は、平成20年に、全国唯一のいちご専門研究機関「栃木県農業試験場いちご研究所」として、旧栃木分場いちご研究室の機能を拡充強化して設立されました。

現在は、そのもつとも代表的な役割であるいちごの新品種の開発をはじめ、新技術の開発、いちご経営の調査分析、農家などを対象とした研修の実施など、いちご栽培にまつわる様々な研究や事業を行い、いちご生産量50年連続1位「いちご王国とちぎ」の土台を支えています。



## 市内の農家の協力で 誕生した「とちおとめ」

そんな「いちご王国とちぎ」が、平成のはじめの頃、販売額で福岡県に1位を明け渡していたことがありました。当時は、昭和60年に品種登録された「女峰」の生産が順調でしたが、西の横綱「とよのか」に対抗できる新品種の開発が課題となっていました。

いちごの新品種の開発にあたっては、親となるいちごの品種を選び、それを交配させて種から育てた「実生苗」を8千株もの数で育成し、それを数年間かけて選抜を行っていく、という膨大な費用と手間のかかる作業が必要となります。この時、新品種の開発にあたり、十分な「実生苗」の数を確保するため、市内吹上地域の農家が無償での協力を申し出、育種のための圃場や育成のための



## 栃木の風土に合う いちごを

作業の提供を行いました。この時育成された数千もの「実生苗」の中から、最終的にたった一株が選り出され、「栃木十五号」と名付けられました。その後も多くの関係者が協力し、苗の作成や栽培技術の確立など多くの課題をクリアしていきました。この「栃木十五号」は、平成8年に「とちおとめ」として品種登録され、日本を代表するいちごとして広まっていくこととなります。

その後も、観光つみどり園用の「とちひめ」、夏秋に収穫できる「なつおとめ」そして、平成26年には「スカイベリー」と、たゆまぬ努力で開発が続けられています。

今後の展望について、とちおとめの開発にも携わった、いちご研究所の石原所長に何うと、「まず、今までもこれからも変わらないのは、栃木県の気候や風土にあった品種開発ということです。また、生産者、消費者、実需者の皆さんに喜んでもらえるような、そんな品種を目指していきたい」とお話をしてくれました。

## いちご研究所

(旧栃木分場いちご研究室)

### で生まれた、代表的な いちごの品種



## 増改築・外壁塗装・オール電化・水廻り・エクステリア・ガーデン・その他リフォーム

### カラーズだから安心塗装

地元密着カラーズの『ヌリカエ』なら  
価格・品質・安心保証  
お気軽にご相談ください！



カラーズは  
安心安全  
納得の施工

おまかせ  
ください！

カラーズは多数の実績を誇る  
増改築・リフォーム・外構の専門  
店です。  
小さな工事から増改築まで住まい  
のお悩みを素早く・的確に解決!!  
お気軽にご相談ください！

ありがとう 施工実績  
**5,500**件突破!!  
(2017年12月末)

### 外壁塗装時チェックシート

- 10年以上塗装をしていない
- 雨漏れしている
- 外壁の色あせが気になる
- 外壁を触ると白い粉がつく
- 外壁の藻、コケが気になる
- 外壁が割れている (ひび割れ)

出たなら  
症状が  
要注意

1つでも当てはまる方はご相談下さい！



# カラーズ

ご相談・  
お見積り無料



0120-119-895

栃木市野中町1382-2

栃木市総合運動公園前

営業時間 9:00~19:00 水曜定休日